



セーフティ946

ケース1 「サンダルで運転」は危険な交通違反！



直線道路で電柱に衝突！運転席から降りてきた女性は、かかとの高いサンダルを履いていました。何かの拍子にサンダルが脱げ、ブレーキペダルの下にサンダルが入り込み、ブレーキがかけられなくなったとのこと。

幸い怪我はありませんでしたが、もし歩行者がいたら・・・!! (´；)

運転する時は、運転に適した靴(下駄、スリッパ等運転操作に支障の及ぼすおそれのないもの)に履き替えましょう。



本当にあった

ヒヤリとする話特集

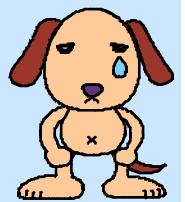
ケース2 「犬が運転席に!？」

ペット(犬)を車内で自由に動き回らせていたり、走行中ペットが窓から顔を出していたり運転席で犬を抱っこしたまま運転していたり・・・きっと見たことがあると思います。

万が一急ブレーキをかけたら・・・! ペットに気を取られたら・・・!!

ペットを乗せる時は、ペットの予期せぬ動きで運転の支障とならないように、ゲージに入れてシートベルトで固定するなど工夫しましょう。

視野を妨げたり、ハンドルその他の装置の操作を妨げるなど運転障害となる方法でペットを乗車させて運転した場合、交通違反で検挙されることがあります。



ケース3 「チャイルドシートはこまめに点検しましょう！」

こまめに
チェック!



チャイルドシートを一度取り付けたら安心して点検を忘れていませんか？

子供がいたずらしてチャイルドシートを固定しているシートベルトの取り外しボタンを押してしまい、それに気づかずに走行中、前の車が急ブレーキをかけて、あわててブレーキをかけたところ、チャイルドシートごと前の座席に崩れ落ちた! という事例があります。

子どもの命を守るためにチャイルドシートは、しっかり固定させ、こまめに正しく装着されているか点検しましょう!